



ながはま



だより

Vol.39

平成27年11月1日発行
発行：長浜市議会
編集：広報広聴委員会



平成27年9月定例会が9月3日から10月1日まで(29日間)の日程で開催されました。

新役員等が決まりました、正副議長就任挨拶	2面
平成26年度決算報告の内容	3面
各常任委員会報告	4面
市政を問う、一般質問内容	5面
各会派代表による主な質問事項と答弁内容	6~8面
議員個人による主な質問事項と答弁内容	8~15面
第5回意見交換会を開催します	16面
広報広聴委員会、総合計画特別委員会を設置	17面
議案に対する各議員の賛否、議会の動き、お知らせ、編集後記	18面

新しい所属委員等決まる

議会役員等一覧

【議長】 浅見勝也			【副議長】 藤井 繁			【監査委員】 東 久雄		
総務教育常任委員会	9名	正副	浅見信夫 山崎正直	東 久雄 中川リヨウ	押谷與茂嗣 藤井 繁	佐金利幸 森田義人	柴田光男	
健康福祉常任委員会	9名	正副	中川 勇 峰山紀子	石田節子 轟 保幸	鬼頭明男 西尾孝之	草野 豊 矢守昭男	柴田清行	
産業建設常任委員会	8名	正副	西邑定幸 竹内達夫	浅見勝也 中島康雄	阪本重光 松本長治	竹本直隆 吉田 豊		
議会運営委員会	8名	正副	柴田光男 轟 保幸	浅見信夫 中島康雄	佐金利幸 森田義人	竹本直隆 吉田 豊		
広報広聴委員会	11名	正副	松本長治 佐金利幸	東 久雄 中川 勇 山崎正直	鬼頭明男 中川リヨウ 矢守昭男	草野 豊 西邑定幸 吉田 豊		
総合計画特別委員会	11名	正副	竹本直隆 中島康雄	浅見信夫 草野 豊 轟 保幸	石田節子 柴田清行 西尾孝之	押谷與茂嗣 柴田光男 峰山紀子		
長浜水道企業団議会議員	9名	浅見勝也 轟 保幸	押谷與茂嗣 松本長治	鬼頭明男 吉田 豊	佐金利幸	柴田光男	竹本直隆	
湖北広域行政事務センター議会議員	12名	浅見勝也 柴田清行	浅見信夫 中島康雄	石田節子 西尾孝之	草野 豊 西邑定幸	佐金利幸 峰山紀子	阪本重光 山崎正直	
湖北地域消防組合議會議員	12名	浅見勝也 中川リヨウ	草野 豊 藤井 繁	柴田清行 峰山紀子	竹内達夫 森田義人	竹本直隆 吉田 豊	中川 勇 矢守昭男	
長浜・米原市議会連絡協議会委員	8名	浅見勝也 西邑定幸	鬼頭明男 藤井 繁	中川 勇 峰山紀子	中川リヨウ 森田義人			
敦賀・長浜・高島三市議会協議会委員	6名	浅見勝也 浅見信夫	藤井 繁 中川 勇	柴田光男 西邑定幸				

正副議長就任あいさつ



議長
浅見 勝也



副議長
藤井 繁

この度の8月臨時会において、議員各位のご推举を賜り、議長・副議長に就任いたしました。身に余る光榮でありますとともに、現在の地方自治を取り巻く情勢を考えるとき、改めて責任の重大さに身の引き締まる思いであります。また、この重責を果たすため、渾身の努力を傾注してまいりたいと考えております。

さて、地方分権、地域主権の議論がなされる中、今後地方自治体の裁量や責任が増すことになり、議会の果たす役割もますます重要になっております。

このようなかで、平成25年9月に議会活動・運営の基本的な理念を「長浜市議会基本条例」として定め、「市民との意見交換会」を継続して開催しているところです。

また、「市民に開かれた議会」として、昨年からは各委員会での審査内容を全文記録とし、インターネット動画配信をスマートフォンでも視聴いただけるなど内容の拡充対応を行いました。本年1月の新議場への移転を機に、車イス用昇降機や難聴者対応の傍聴設備も整えております。本会議におきましても、より分かりやすい質問・答弁を目指し、議会改革を積極的に推進してまいります。

今後も、市民の皆さんへの負託に応えられるよう、誠心誠意努力してまいりますので、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

平成26年度の各会計決算を認定

9月定例会に提案された平成26年度各会計決算の認定の議案について、9月17日から28日まで決算特別委員会各分科会を開催し、10月1日に全体会を開催して審査しました。その結果、一般会計および各特別会計の歳入歳出決算いずれも認定しました。

平成26年度各会計決算総括表

会 計 名		歳 入 額	歳 出 額	差 引 残 額
一 般 会 計		587億1700万円	569億4200万円	17億7600万円
※参考 平成25年度一般会計		607億1800万円	584億6600万円	22億5100万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	127億4500万円	125億9100万円	1億5300万円
	診 療 所	5億2200万円	5億2100万円	100万円
	後期高齢者医療保険	12億0900万円	12億0800万円	100万円
	介 護 保 険	102億3600万円	101億5200万円	8500万円
	休 日 急 患 診 療 所	3600万円	3400万円	100万円
	公共下水道事業	56億0300万円	55億4800万円	5500万円
	農業集落排水事業	14億6100万円	14億6000万円	100万円
	簡 易 水 道 事 業	6億5500万円	6億2300万円	3100万円
	小 計	324億6600万円	321億0400万円	3億6200万円
合 計		911億8300万円	890億8000万円	21億0300万円
企 業 会 計	木之本・高月水道事業	3億5000万円	4億3700万円	△8700万円
	病 院 事 業	152億4400万円	184億7600万円	△32億3200万円
	老人保健施設事業	4億4100万円	4億7100万円	△3000万円

※数値は端数調整してあるため、合計が一致しない場合もあります。

※企業会計は、平成26年度から地方公営企業会計制度が見直され、会計基準の大幅な変更による損失拡大となっています。

	健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	なし	11.58%
連結実質赤字比率	なし	16.58%
実質公債費比率	10.0%	25.00%
将来負担比率	なし	350.0%

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率は、早期健全化基準を下回る若しくは算定されない（なし）結果の場合、健全という判断の指標となります。



※ 各公営企業における「資金不足比率」は平成26年度決算において資金不足を生じた公営企業は無く該当なし。

平成27年度補正予算等を審査

総務教育常任委員会

長浜市病院事業会計決算等を審査

健康福祉常任委員会

木之本・高月水道事業会計決算等を審査

産業建設常任委員会

各常任委員会の報告

第3回定例会で付託された議案 28件・請願2件について審査を行いました。

当委員会に付託を受けました議案は、「平成27年度長浜市一般会計補正予算（第3号）」等5件で、慎重審議の結果、いずれも全員一致で可決すべきものと決しました。
▼補正予算の内容は、自治会防犯灯設置補助金、長浜城歴史博物館空調設備改修経費および消防ポンプ自動車更新に伴う追加購入に係る増額などです。

▼条例関係は、マイナンバー制に基づく長浜市においての独自利用、府内連携及び機関間の情報提供を行うことを想定するための条例の制定、また、ひとしごと創生総合戦略推進基金条例の制定および長浜市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正です。

▼請願については、「川内原発稼働の停止と全国の原発の廃炉を求める請願」は不採択とすべきものと決しました。
▼その他、議案以外の協議事項として「本庁跡地の暫定的利用方針」、「長浜市文化芸術振興にかかる基本方針の見直し」、他2件について当局から説明を受けました。
▼常任委員会終了後、決算特別委員会分科会を開催し、平成26年度長浜市一般会計歳入歳出決算の審査を行いました。

当委員会に付託を受けました議案は、「平成27年度長浜市一般会計補正予算（第3号）」、平成26年度長浜市病院事業会計決算の認定等5件であり、慎重審査の結果、いずれも可決・認定すべきものと決しました。
▼補正予算の内容は、介護福祉施設整備を行う民間事業所に対する補助金のほか、来年度から市内5か所に設置を予定している地域包括支援センターの開設に向けた所要の経費などです。

▼条例関係は、手数料条例の一部改正で、マイナンバー制度に伴う通知カード及び個人番号カードの再交付手数料を定めるとともに、住基カードの交付手数料及び再交付手数料を廃止する内容です。

▼請願第3号 国に対し「所得税法第56条の廃止を求める意見書」の提出を求める請願書は賛成少数により不採択とすべきものと決しました。

▼その他、議案以外の協議事項として「市立長浜病院の売店・食堂等運営事業者募集に係る公募型プロポーザルの実施について」「介護予防・日常生活支援総合事業について」、当局からの説明を受けました。

当委員会に付託を受けました議案は、「平成27年度長浜市一般会計補正予算（第3号）」、平成26年度木之本・高月水道事業会計決算の認定、専決処分事項の承認を求めるについて（専決第3号、工事請負契約の変更）等7件であり、慎重審査の結果、いずれも可決・認定承認すべきものと決しました。
▼補正予算の内容は、介護福祉施設整備を行う民間事業所に対する補助金のほか、来年度から市内5か所に設置を予定している地域包括支援センターの開設に向けた所要の経費などです。

▼条例関係は、手数料条例の一部改正で、マイナンバー制度に伴う通知カード及び個人番号カードの再交付手数料を定めるとともに、住基カードの交付手数料及び再交付手数料を廃止する内容です。

▼請願第3号 国に対し「所得税法第56条の廃止を求める意見書」の提出を求める請願書は賛成少数により不採択とすべきものと決しました。

▼その他、議案以外の協議事項として「市立長浜病院の売店・食堂等運営事業者募集に係る公募型プロポーザルの実施について」「介護予防・日常生活支援総合事業について」、当局からの説明を受けました。

▼審査の過程における意見として、充分な審議を行うため、工事の変更等が発生した場合は速やかに議会へ報告を行ふこと等を申し添えています。

▼その他、議案以外の協議事項として「長浜市森づくり計画アクションプランの策定」「都市計画道路の見直し」等について、当局からの説明を受けました。

市政を問う

今定例会では、会派代表5名・個人15名の議員が質問に立ちました。

会派代表質問（会派名）

※下記の質問項目のうち、太字部分について要約し、6～8ページに掲載しています。

- | | |
|-----------------------------|--|
| ○ 柴田 清行 議員（新しい風） | ①2期目を向えた藤井市政の取組みについて
②教育のまち長浜を目指して
③今後の交通政策と産業育成について
④今後の観光振興について
⑤ふるさと納税について |
| ○ 吉田 豊 議員（改革ながはま） | ①各種計画、戦略方針等の現在の状況について
②行政改革について
③立地適正化計画について
④小中学校の統廃合について
⑤農業経営の厚みを増す戦略について
⑥北陸新幹線について
⑦市民の視点に立った庁舎機能の強化について
⑧空き家等の適正な管理に関する条例制定について |
| ○ 竹内 達夫 議員
(日本共産党 長浜市議団) | ①安保法案（戦争法案）について
②原発の再稼働について
③再生できる米価の保障について
④学校給食について
⑤合併による住民サービスの低下について |
| ○ 森田 義人 議員（要） | ①財政計画（H27年度～H36年度）について
②北陸新幹線敦賀以西ルートについて
③再生可能エネルギーについて
④北部地域振興策について |
| ○ 鋒山 紀子 議員（公明党） | ①長浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
②若者をはじめとする有権者の投票率向上の取り組みについて
③マイナンバー制度導入について |

個人一般質問（質問者順）

※下記の質問項目のうち、太字部分について要約し、8～15ページに掲載しています。

- | | |
|------------|---|
| ○ 轟 保幸 議員 | ①原子力防災訓練について
②賤ヶ岳合戦の砦遺跡群の保存と整備について |
| ○ 中川 勇 議員 | ①地域農業を守るためのサポートについて
②地域づくり協議会の役割について
③学校教育現場における行政職員との人事交流について
④地域ニーズに沿ったデマンドタクシーの運行について |
| ○ 佐金 利幸 議員 | ①病院事業の運営について |
| ○ 松本 長治 議員 | ①監視カメラの活用について
②地域おこし協力隊について |
| ○ 中島 康雄 議員 | ①住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指して
②マイナンバー制度について
③消防水利の整備について
④市民活動センターについて
⑤一部事務組合の行政評価について |
| ○ 中川リョウ 議員 | ①地域医療体制について
②子どもの安全対策について
③市長がマニフェストに掲げられた北部振興について |
| ○ 鬼頭 明男 議員 | ①森林資源の活用について
②地震と地震による液状化について
③街灯について
④子ども医療費無料化について |
| ○ 矢守 昭男 議員 | ①東浅井商工会主導で進められている（仮称）森の駅構想（道の駅予定）と長浜市との連携
あるいは支援策について
②園、学校給食『食育』で子供の健康増進について |
| ○ 西邑 定幸 議員 | ①旧びわ地域（長浜市西部 さざなみ街道沿線）の地域振興と活性化について
②長浜市におけるＩＣＴ活用の現状と今後の計画について |
| ○ 浅見 信夫 議員 | ①北陸新幹線問題について
②マイナンバー制度について
③市民の願いに応えた財政運営について |
| ○ 竹本 直隆 議員 | ①琵琶湖長浜オーブンウォータースイムレースについて
②子どもの夜間外出について
③忠魂碑について
④小谷城戦国資料館について |
| ○ 山崎 正直 議員 | ①高齢者の介護サービスについて
②学校トイレ改修事業について |
| ○ 柴田 光男 議員 | ①ひきこもり・不登校児童生徒支援について
②山間地を活かした「やまのこ」環境学習について
③インバウンド事業について |
| ○ 押谷與茂嗣 議員 | ①コンプライアンス徹底への覚悟について
②合併後の行政改革について |
| ○ 草野 豊 議員 | ①在宅での看取りについて
②福祉に関する情報の提供と相談対応の体制づくりについて
③湖北地域消防本部建替えについて |



新しい風（柴田 清行 議員）

◆2期目を向えた藤井市
政の取組みについて
問 マニフェスト実行と地
方創生について問う。

答 マニフェストに掲げま
した、具体的な施策の9
割はおおむね順調に進
んでいます。残る約1割に
つきましても課題解決に
全力で取組んでまいりた
い。当市が抱える急激な
人口減少と超高齢化とい
う課題に対して、真正面
から向き合い、地方創生
を新たなスローガンに他
市より早期に総合戦略を
策定しているところであ
ります。

◆教育のまち長浜を目指
して

問 全国学力調査に基づく
学力評価について問う。

答 あと1問ずつ正解する
と全国平均を上回ること
になり、本市の子ども達
の学力は全国レベルであ
ることや、学力の基本は国
語力にある事から図書館
土曜授業を5回程度増す
ことや、学力の基本は国
語力にある事から図書館

◆新幹線整備問題について
て問う。

問 新幹線整備問題について
て問う。

答 在来線維持や新幹線整
備地元負担金などの問題
を考慮しながらも、北陸
新幹線敦賀以西ルートは
関西広域連合が提案して
います『米原ルート』を
賛同して参ります。新幹
線駅を核に観光や企業誘
致に代表される地域振興
策を進めて参ります。

◆今後の観光振興について
受け入れ対策について問
う。

問 外国人観光客の現状と
受け入れ対策について問
う。

答 平成25年度は2・7万
人、26年度は4万人で台
湾が多く、香港、中国の
順であり、年々増加して
いくものと見えます。今
後は寄付金充当事業の
充実や長浜の魅力に触
れていたく事ができる商
品の充実を図り、地方創
生に向けた、『ふるさと
納税』を活用して参りま
す。

◆今后の交通政策と産業
育成について

問 新幹線整備問題について
て問う。

答 昨年度の納税額は
1、767万円です。
一方、市民が他市町村に
納税された金額は1、3
19万円で税額控除額に
致しますと528万円で
す。

◆ふるさと納税について
現在の状況について
と市民の他市町村への納
税状況について問う。

答 ふるさと納税の取組み姿
勢について問う。

答 ふるさと納税を活用し、
地域への関心や愛着を深
め、交流人口を増やすこ
とは、地方創生につなが
ります。また、豊富な地
域資源や市の取組みを効
果的に発信すれば、息の
長い長浜ファンを獲得し
ていけるものとを考えます。
今後は寄付金充当事業の
充実や長浜の魅力に触
れていたく事ができる商
品の充実を図り、地方創
生に向けた、『ふるさと
納税』を活用して参りま
す。

◆計画、戦略、方針等の
現在の状況について
の様に整合性を持つの
か問う。

問 現在策定中、又予定
している各種計画、戦略、
方針等はどの様なもの
があるか問う。

答 基本構想を市政の最
上位計画として位置づ
け、「協働でつくる輝き
と風格のあるまち長浜」
を実現する為、各個別
計画を連携、整合させ、
中期的計画を策定した
ところです。進行中の
計画は100以上あり、
策定中は新たな総合計
画や第2期教育振興基
本計画等です。

◆空き家等の適正な管
理に関する条例制定
について

問 現在の進捗状況を問
う。

答 会派改革ながはまか
らの提言書や他市の事
例を踏まえて、空き家
対策懇話会で検討して
いる。国の特別措置法
の条文等との整合性を
図りながら、又行政代
執行、当市の環境と実
情も考えながら条例案
の作成に向け取り組ん
でいます。

◆小中学校の統廃合に
ついて

問 本市の小中学校の統
廃合はどの様な計画に
なり、いつ公表される
のか問う。

答 「現在複式学級がある
学校や今後5年以内に
複式学級が避けられな
い学校を対象とし、統
合等を含む学校の適正
配置を検討する」とい

◆改革ながはま（吉田 豊 議員）



改革ながはま（吉田 豊 議員）

◆計画、戦略、方針等の
現在の状況について
の様に整合性を持つの
か問う。

問 現在策定中、又予定
している各種計画、戦略、
方針等はどの様なもの
があるか問う。

答 基本構想を市政の最
上位計画として位置づ
け、「協働でつくる輝き
と風格のあるまち長浜」
を実現する為、各個別
計画を連携、整合させ、
中期的計画を策定した
ところです。進行中の
計画は100以上あり、
策定中は新たな総合計
画や第2期教育振興基
本計画等です。

◆空き家等の適正な管
理に関する条例制定
について

問 現在の進捗状況を問
う。

答 会派改革ながはまか
らの提言書や他市の事
例を踏まえて、空き家
対策懇話会で検討して
いる。国の特別措置法
の条文等との整合性を
図りながら、又行政代
執行、当市の環境と実
情も考えながら条例案
の作成に向け取り組ん
でいます。

◆小中学校の統廃合に
ついて

問 本市の小中学校の統
廃合はどの様な計画に
なり、いつ公表される
のか問う。

答 「現在複式学級がある
学校や今後5年以内に
複式学級が避けられな
い学校を対象とし、統
合等を含む学校の適正
配置を検討する」とい

う基本方針をもとに取
組を進めている。公表
については、対象地域
の保護者や地元の理解
を得た上で、確定した
段階で示していく。

ながはま市議会だより ⑥



会派代表質問



日本共産党長浜市議団（竹内 達夫 議員）



◆安保法案は憲法違反!!
戦争は人殺し!!



問 太平洋戦争では、日本人300万人、アジアの人々2,000万人、長浜市でも20代・30代の若者4,804人も亡くなっています。大切な息子、恋人、夫を奪われた国民の暮らしを思えば、どんな理由があろうとも戦争だけはしてはならない。瀬戸内寂聴さん（作家・僧侶）は「このまま何し

ます。元最高裁長官・元自民党の重鎮（古賀・野中・山崎・亀井・武村各氏）、9割以上の憲法学者、医師、弁護士等多くの国民が「安保法案（戦争法案）は憲法違反、廃案以外にない」と訴えているが市長はどうか。

答 戦後70年、戦争による犠牲者を一人も出さなかつたことは世界に誇るべきだ。平和な国日本が恒久的に続くことを真に願っている。

◆安全な原発はない、再生エネルギーで!!

問 福島原発事故から4年半、事故の検証も充分しないで、川内原発再稼働

は、多くの国民が反対の声をあげており中止すべきです。
日本中の原発が停止して700日、原発はなくとも電力が足りていることを証明しました。

福島原発事故以来、世界の原子力産業の勢力団は大きく変化しており、「原発事業は収益が望めない」「原発は結局リスク、コストが高い」と世界の流れは、原発ゼロで、省エネ、再生エネルギーが主力となっており、日本もこの道に進むべきです。川内原発再稼働中止、原発は廃炉があたりまえと考へるがどうか。

会前行動に参加されていました。

答 戦後70年、戦争による犠牲者を一人も出さなかつたことは世界に誇るべきだ。平和な国日本が恒久的に続くことを真に願っている。

◆安全な原発はない、再生エネルギーで!!

問 福島原発事故から4年半、事故の検証も充分しないで、川内原発再稼働

は、多くの国民が反対の声をあげており中止すべきです。
日本中の原発が停止して700日、原発はなくとも電力が足りていることを証明しました。

福島原発事故以来、世界の原子力産業の勢力団は大きく変化しており、「原発事業は収益が望めない」「原発は結局リスク、コストが高い」と世界の流れは、原発ゼロで、省エネ、再生エネルギーが主力となっており、日本もこの道に進むべきです。川内原発再稼働中止、原発は廃炉があたりまえと考へるがどうか。

会前行動に参加されていました。

答 戦後70年、戦争による犠牲者を一人も出さなかつたことは世界に誇るべきだ。平和な国日本が恒久的に続くことを真に願っている。

◆安全な原発はない、再生エネルギーで!!

問 福島原発事故から4年半、事故の検証も充分しないで、川内原発再稼働



要
かなめ

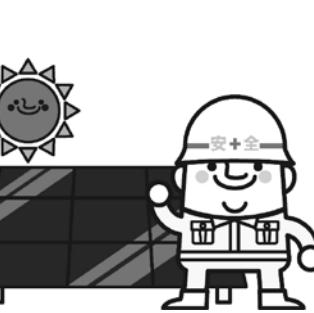
（森田 義人 議員）



◆財政計画（H27年度～H36年度）について

ルートについて

◆北陸新幹線敦賀以西ルートについて

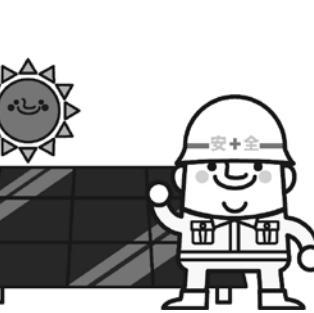


問 H27年度以降の決算規模の構造改善策を問う。

答 人事費の抑制、普通建設事業費の圧縮、公債費の削減、新たな公共サービスの担い手の活用等によつて予算規模の縮小と必要な行政サービスの維持を図つてまいります。

問 本市の財政を健康体に戻す治療策について問う。

答 市税収入を維持確保し扶助費の増加に対し物件費や公債費の削減が重要でありこれらの取組を確実に行い経常収支比率の健康体の目安である数値85%に近づけたい。

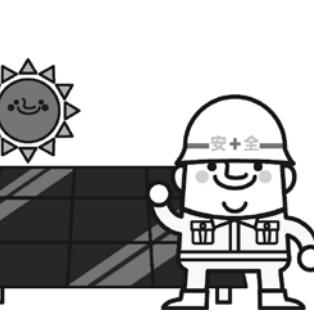


問 米原接続の課題である整備費の地方負担軽減と在来線維持に対する取り組みを問う。

答 関西広域連合が示した米原ルートを長浜市としても最良の選択となるよう県に対してもは米原駅の活用策についてその方向性を早期に打ち出すよう強く求めたところです。

問 再生可能エネルギーについて

答 市長は二期目のマニフェストでH32年度までに再生可能エネルギー量を現在の5倍にすると示されました。現状と今後について問います。

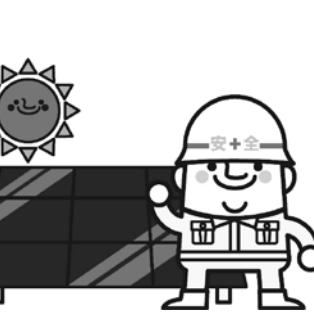


問 北部地域振興策について

答 北部地域振興局を設置されましたが今なお形の見えない北部地域振興策「ムツくつて魂入れず」市は北部の将来像を真剣に考えているのかと市民の方々の声を聞きます。市長の北部振興策を問います。

問 北部新幹線敦賀以西ルートについて

答 今までの取り組みの検証を行い地域の期待とご希望に添えるよう鋭意努めてまいります。



問 市として北部振興検討委員会を立ち上げ地域の期待に応える考えは有るのかを問う。

答 せつかくの提案であり協議してまいります。

問 7 ながはま市議会だより



公明党（峰山 紀子 議員）



会派代表質問

◆長浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

問 子ども等医療費無料化の実施について

答 少子化対策・子育て支援として効果を期待されていますが、その反面、多額の負担助成金やそれに伴う医療費の増加による財政負担増、軽微な受診による患者の増加、医師の負担増加による医療現場の混亂、疲へいが憂慮されています。財源の確保や有効性を含め、多方面からの検討を行ってまいります。



公明党（峰山 紀子 議員）

◆若者をはじめとする有権者の投票率向上の取り組みについて

問 有権者の利便性に考慮した投票所の開設について

答 若者を含め多くの有権者の利便性を考えますと、やはり、大型商業施設における期日前投票所の開設が有効であると考えております。9月の選挙管理委員会定例会におきましては、商業施設での期日前投票所開設を推し進めることを決定いたしました。不確定な部分もございますが、来年の参議院議員通常選挙において開設できるよう取組んでまいります。

◆マイナンバー制度導入について

問 個人情報漏えい、セキュリティ対策の取り組みについて

答 個人の特定が確実に行われることになりますが、各機関が保有している情報を特定の機関に集約したり、個人番号カードにあらゆる個人情報を記録するわけではなく、従来どおり個人情報は各機関が保有し、必要な場合はマイナンバーを更に変換した符号で照合を行うという仕組みになっています。またこれらのシステムは専用に使用し、外部と接続する回線には、ウイルス侵入を阻止する対策を講じています。

原子力防災訓練について



轟 保幸（新しい風）

問 案内板、アクセス道の整備はどうか。

答 協議する。アクセス道は保護の観点から慎重に検討する。案内板は関係部署と

問 史跡指定の予定はどうか。

答 指定に向け事前調査をし、計画的に取組む。

問 県の広域避難訓練の自己評価はどうか。

答 必要性を理解いただけたため広報や訓練録画、出前講座を活用していく

問 広域避難訓練の見直しありどうか。

答 必要性を検討する。

問 安全協定で事業者の積極的協力とは何か。

答 中世の遺跡群を総合的計画的に調査し歴史遺産として活用を検討する。

問 観光資源として砦の復元はどうか。

答 現時点では遺跡保存保護を中心と考える。

問 賤ヶ岳合戦の砦遺跡群の保存と整備について

答 保護を中心と考える。

問 各砦遺跡の保存状態の確認はどうか。

答 現地視察でも重要な問題はない。

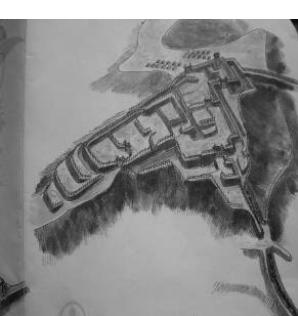
個人一般質問

問 要配慮者への避難訓練はどうするのか。

答 要配慮者を支援する方が必要であり、施設や介護者等への避難行動支援の周知に努める。

問 避難訓練に参加していない住民への周知はどうするのか。

答 避難訓練に参加していません。



問 賤ヶ岳合戦の砦遺跡群の保存と整備について

答 質問の確認はどうか。

問 各砦遺跡の保存状態の確認はどうか。

答 旧余呂町時代の平成十六年に確認され、近年

個人一般質問

地域農業を守るために サポートについて!



中川 勇（新しい風）

問 集落営農組織の一部ではその構成員の高齢化も進み、組織の弱体化が課題と聞く。どう対応するのか。



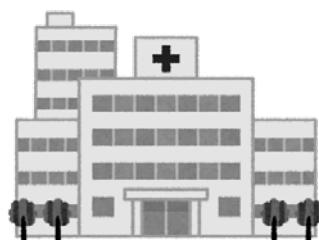
答 高齢化の問題は、個人経営者にも共通した担い手の課題であり、親から子への農業経営の継承、地域における後継者の確保や新規就農者の育成支援等、地域からの協力も得ながら、より一層取組みを進めたい。

問 地域づくり協議会の役割は地域づくり協議会の役割は

させ、位置付けを明確にすべきと考えるが。

答 地域内分権の加速化は従前画一的に取組んできた施策から、地域の特性等に応じた柔軟な施策への転換を目指すようになってきている。各協議会の活動内容には差がある現状の中で、組織体制等が整った団体から今後とも公共サービスから可能なものについて担ってもらえるよう取組みたい。

答 これまでしついだ方策についての考え方を持ち合わせていなかつたので、有効性・可能性について検討させていただ



問 市立長浜病院の平成26年度院の平成26年度決算について問



佐金 利幸（新しい風）

答 平成26年度から地方公営企業会計制度の見直しが実施されているため単純比較は難しいものの、制度改正による21億83百万円を除きますと、前年度と同基準による純損失は3億7千万円となり、前年度の△82百万円に比べ、2億88百万円損失が多くなりました。

問 地域ニーズに沿ったデマンドタクシーの運行を！

答 浅井地区を含め、十日月一日からより多くの方に利用してもらえるように運行方法を変更した。

答 今年8月から小児科常勤医師がら名から4名に減りました。医師や看護師の負担が大きくなり、医療体制そのものを堅持していくことが困難になります。今年度においては、常勤医の名となつたほか、滋賀医科大学の全面協力のもと体制の立て直しを図つていねといろで、今後更なる医師確保に努めてまいります。

問 病院として原因及びその対策をどのように考えているか。

問 ながはま市議会だより

学校教育現場へ役職を有する行政職員の配置を！

社会情勢の変化に伴い、学校現場は今後さらに複雑多岐にわたる。行

病院事業の運営について



中川 勇（新しい風）

問 病院として原因及びその対策をどのように考えているか。

答 特に消化器内科、麻酔科において医師不足が顕著であつたと捉えています。今年度においては、常勤医の名となつたほか、滋賀医科大学の全面協力のもと体制の立て直しを図つていねといろで、今後更なる医師確保に努めてまいります。

問 ポミ処理や消防は広域行政となっている。米原市は既に子ども医療費無料化になっているが自治体病院を持たない。米原市に対し何らかの形で病院事業に参画してもらおう考えはあるか。



問 「地域づくり指針」に基づいた同協議会と自治会・地区連合自治会の関係を再確認し、「地域のことは地域が主体的に決定し、責任を持つ」という地域内分権を加速化

問 ながはま市議会だより

監視カメラの活用について



松本 長治（要）



問 公共施設などへの防犯カメラや車載カメラの整備について、今後の計画はどうか問う。

答 駅や病院、学校等に現在488台を設置している。今後、未設置の公共施設にも施設管理や犯罪防止の面から、公用車等への車載カメラも含め、必要に応じ設置していく。

個人一般質問

包括センターのあり方にについて



中嶌 康雄（改革ながはま）

ると考えている。今後、先進事例を含め調査、研究を行う。

問 監視カメラの設置を検討される自治会等への支援について、先進地な

答 現在、水害対策として姉川2か所、米川、大井川、高時川に各1か所の計5か所設置している。今年度、姉川（大井）、田川（月ヶ瀬）、高時川（川合）、余呉川（黒田）、大川（塩津浜）に各1か所設置し、対策の強化をはかる。水害以外の災害に対する、監視カメラ設置の計画はない。

問 豊公園や賤ヶ岳、湖北の美しい琵琶湖などの映像を常時配信し、長浜の良さをPRするためにカメラの活用はできないのか問う。

答 有効な手段であり、観光促進の面からも効果があると考える。現在写真画像等による発信により、一定の誘客効果があ

答 現在10万円を限度とする補助金制度を準備している。今後カメラの性能や、市場価格の動向等を見ながら検討する。

地域おこし協力隊について

問 地域おこし協力隊の活動地域となる、各地域の課題解消のために、「まち版地域おこし協力隊」や「集落支援員」制度の活用も有効ではないか問う。

答 地域の実情や課題、地域コミュニティの維持について問う。

答 制度導入への職員体制や市民への周知、利用拡大によるリスク管理について問う。

答 周知については、民生委員・児童委員協議会、湖北地域介護サービス事業者協議会、老人会などでも説明会を開催する予

答 委託については、市が運営方針、業務内容等を示すマニュアル等を作成し、市と委託先それぞれの役割を確認しながら一体的な運営体制をとり、その責務を果たします。

問 消火栓の設置については、地域の実情にあつた有効範囲の決定や水管の口径、給水能力、開発基準との整合など整理するためには、市全体の「消防・水道施設適正化計画」を作成し消防水利基準を明確にし、水道管の見直しや消火栓の統廃合の検討が必要であり、私設消火栓の設置についても許可権限等関係機関と協議する必要性があることを問う。

答 適正な消化活動が出来るよう配置計画を作成するとともに、既設消火栓の変更等については、事前に自治会等にお知らせし住民周知を徹底する事等改善を検討致します。

問 設置目的、運営主体と整備財源、規模について問う。

答 目的については、「長浜の未来を担う人材づくり」、「人と人がつながり、イノベーションを創出する環境づくり」と考えており、運営主体について新しく運営組織を模索している。財源・規模については、専門業者の支援を受けて事業計画を策定し、施設形態、事業参加者等の整理、管理運営手法、民間活力の導入の可能性、財源を含めた最適な事業手法等を整理し、今後市民の皆様にも適宜情報を提供する。

答 適正な消化活動が出来るよう配置計画を作成するとともに、既設消火栓の変更等については、事前に自治会等にお知らせし住民周知を徹底する事等改善を検討致します。

市民活動センターについて

問 設置目的、運営主体と整備財源、規模について問う。

答 適正な消化活動が出来るよう配置計画を作成するとともに、既設消火栓の変更等については、事前に自治会等にお知らせし住民周知を徹底する事等改善を検討致します。

個人一般質問

地域医療体制について



中川リョウ（改革ながはま）

北部振興について

地域おこし協力隊以外の若者の田舎暮らしについて、私の周りにも都

会に住んでいるが、田舎

暮らしたいと思う若

者が増えている。そう

いった人の受け入れ体制

はどのように考えている

か？

問 今年竣工の市立長浜病院診療支援棟について、今回の診療支援棟の建設に

更なる北部の振興策を！

答

よりどのような役割

の病院になるのか、

また支援棟の建設により

機器のメンテナンスに毎

年どのくらいの負担が生

まるのか？

答 当院の強みである脳や心臓の血管障害に対し、迅速かつ高度な医療の提供を図ることも、各種検査機能の集約や集中治療の改善を図ります。（高度急性期、急性期病院機能）また、機器の保守点検などに年間800万円の費用がかかるようになります。

答

非常通報装置（ボタンを押せば110番に直

接する装置。H13の池田小殺傷事件後に全国で導入された）について

PHSと非常通報装置を併用で使用している教育施設は何所か、また少

しでも最寄りの警察機関から警察官が駆けつけてくれる非常通報装置の必

要性があるのではない

か？

答 市内では4カ所の教

育施設で併用していま

す。非常通報装置の設置

についても、今後、必要性について検討をしていきたいと考えています。

おり、今後も普及は進み、30年には達成する見込みから、今年度予定の再生可能エネルギー利活用方策での計画指標を見直し、更なる普及に努めたい。

30年内の地震発生率！70% 南海トラフ（東南海・南海地震）について



鬼頭 明男（日本共産党）

地域医療体制について

地域おこし協力隊以外の若者の田舎暮らしについて、私の周りにも都

会に住んでいるが、田舎

暮らしたいと思う若

者が増えている。そう

いった人の受け入れ体制

はどのように考えている

か？

問 南海トラフ地震と液状化について問う。

答 「地震の規模マグニチュードの・〇、市内の弱、全壊棟数298棟、半壊

棟数3462棟、人的被害は死者13人・負傷者456人、避難生活者2922人と想定。液状化は、東北部の山地部から琵琶湖までの間で、姉川、高時川、余呂川により形成された扇状地となっていることから、液状化の可能性が高い地域です。

答 森林資源活用は、荒廃した里山林の整備や継続した森林管理で獣害の防止にもつながる。まだ

ストーブの性能も上がり、ますます増えると考

えます。さらに森林資源の販売による収益が、地域の経済循環につながると考えます。また、市としては木質バイオマスボイラーや公共交通への導入をモーテル的に進める先進的

設置は行わず、既設防犯設置は行わず、既設防犯

灯のLED化による機能強化を推進していく

のですが、本年度設置防犯灯のLED化事業があ

およそ完了。このため、道路管理者や教育委員会

等と協議しながら、犯罪の発生状況や小中学校の通学路等、地域特性を勘案して、市が整備する

ことが望ましい箇所について一定の設置基準を財政シミュレーションしながら検討してまいりたいと考

問 「森林資源の効果的な活用をいろいろな方向

から広げていくことが求められている」また、人が森林に入ることで沢山の効果（獣害対策・水害

導入により、民間、個人での導入も視野に入れて

いきたい。

補助金・現在（県5万円・市10万円）あわせて

15万。平成32年までに合計160台の目標として



答 市内では4カ所の教育施設で併用していま

す。非常通報装置の設置についても、今後、必要性について検討をしていきたいと考えています。

問 「森林資源の効果的な活用をいろいろな方向

から広げていくことが求め

られている」また、人が森林に入ることで沢山の効果（獣害対策・水害

導入により、民間、個人での導入も視野に入れて

いきたい。

補助金・現在（県5万円・市10万円）あわせて

15万。平成32年までに合計160台の目標として

個人一般質問

東浅井商工会主導での（仮称）森の駅について



矢守 昭男（改革ながはま）

物語のある道の駅に
又、食育で健康を

の口マンの舞台である戦国時代の古戦場や城跡があり、本物を体験していく。

トとの連携について。

ただ戦国の歴史口マンに心弾ませていただけるように。

姉川古戦場、賤ヶ岳古戦場をはじめ多くの歴史的遺産が点在しており、北陸から東海への動脈である365号線があり観光の情報発信拠点として期待するといふのです。黒壁スク

材確保について。

答 専門家アドバイザーの指導のもと利用者が居

けるノウハウの習得に努められるようになります。(仮称)小谷城スマートインターチェンジが供

用開始され、この道の駅が本市の東の玄関口として多くの人々を受け入れる拠点施設となる。

問 観光客、立ち寄り客が「物語」を擬似体験できるような道の駅づくりについて。

答 近隣には戦国の歴史について。

森の駅について

問 地元産の食材、環境にこだわり米などについて。
答 長浜市産の「シヒカリ等米を仕様としています。野菜や湖魚についても、可能な限り地元の食材を使用しています。

では、可能な限り地元の食材を使用しています。

問 「ご飯と牛乳、お茶との相性について。

答 厚生労働省の調査では、現代の子どもたちは、たんぱく質は十分に摂取できていますが、レタミンB1や鉄、カルシウムは不足しているとされます。牛

乳の飲用を中止する」といは、児童生徒に一層のカルシウム不足を招くおそれがあります。

問 卓越した「おもてなし」技術を身に付けた人材確保について。

答 専門家アドバイザーの指導のもと利用者が居心地の良い空間でいた

けるノウハウの習得に努められるようになります。

問 皋田人形の文化継承と「鄙（農村）文化」としてのブランド力の強化について問う。

答 皋田人形は、市を代表する無形民俗文化財で、これ迄も様々な助成支援を行ってきた。

問 竹生島には「宝厳寺」と「都久夫須磨神社」があり、数々の国宝や重要文化財が現存している

が、観光誘客の為の魅力について問う。

問 びわ地域の地域振興と活性化に向け、組織横断的な取組が必要と考えるが、市長の考えを問う。

問 びわ地域の地域振興と活性化に向け、組織横断的な取組が必要と考えるが、市長の考えを問う。



旧びわ地域（さざなみ街道沿線）の地域振興と活性化について



西邑 定幸（新しい風）

瑠璃としてブランド力強化に向け、内外にPRする。

「早崎キャンプ場」も、

びわ地域振興に繋がる有効な地所であり、県当局の動向を注視して地元ど

うして、県で検討が進められていて、市で検討が進められています。

問 富田人形の文化継承と「鄙（農村）文化」としてのブランド力の強化について問う。

答 竹生島には「宝厳寺」と「都久夫須磨神社」があり、数々の国宝や重要文化財が現存している

が、観光誘客の為の魅力について問う。

問 びわ地域の地域振興と活性化に向け、組織横

断的な取組が必要と考えるが、市長の考えを問う。

問 びわ地域（さざなみ街道沿線）には地域振興

に、電力供給・トイレ等の環境整備に、竹生島奉賛会をはじめ地元と連携して対応を図っています。

問 奥びわスポーツの森公園にある、各種施設の利活用並びに再整備について問う。

答 びわ体育館は、修繕や改修工事をし、管理を組む。

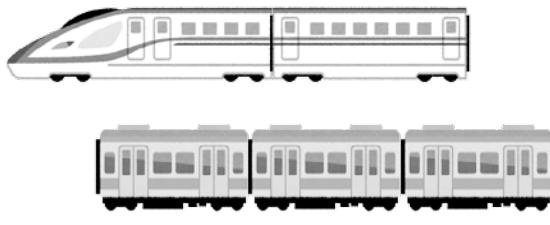
行つており、今後もびわ地域の屋内スポーツ施設として運営していく。レジャー・プールの利活用について、県で検討が進められていて、多くの市民が集まる施設として要望していく。「竹生荘」「早崎キャンプ場」も、びわ地域振興に繋がる有効な地所であり、県当局の動向を注視して地元どうして、県で検討が進められています。

個人一般質問

北陸新幹線問題について



浅見 信夫 (日本共産党)



北陸新幹線よりも
地域公共交通の充実を!

問 北陸新幹線

敦賀以西ルートは、小浜・湖西・米原の3ルートが候補にあがつており、国での検討が行われている。整備新幹線の建設に伴い、沿線自治体とJRが同意することにより、儲からない在

来線はJRの経営から分離され、第3セクターに經營委譲される。累積赤字をかかえ地方自治体の負担が大きくなっているところも多い。

北陸新幹線米原ルートと並行する北陸本線は、これまで直流化工事や新長浜駅舎整備など、市は多額の投資を行い、市民に重要な役割を果たしている。

また、米原ルートの建設費は、約5、100億円と概算され、国が2／3、地方が1／3の割合で負担することになって

いる。

北陸新幹線敦賀以西ルート（米原ルート）を考える場合、北陸本線を

守ることと莫大な財政負担を生じさせないことが大前提・絶対条件であると思うがどうか。

答 市民の生活路線であ

る北陸本線の運行確保や地域への経済効果に見合はない財政負担が生じない対応をすべきであるといふ基本姿勢は変わらない。北陸新幹線問題を考える場合の絶対条件である。

問 市民が求めて

いるのはくらしを支える交通手段の確保と地域振興と連携した公共交通の構築など、地域公共交通の充実である。市の交通ビジョンの策定について問う。

答 平成22年の合併後5年が経過しており、今後は旧市町の区域を超えた市全体を網羅した交通網の形成が必要と考えてお

り、これらを踏まえた公共交通ビジョンを作成し、持続可能な公共交通の運営を図っていく。

琵琶湖長浜オープントラックについて



竹本 直隆 (新しい風)

問 長浜市のOWSの認識について。

答 市民が主役の「手づくり」の大会運営をされ、状況把握は。

答 平成26年度では小学生1件、中学生5件を把握している。

答 遺族会の高齢化と後継者不足が進んでいるの

で集約については関係団

体のご意見を伺うなど検討していく。

問 南浜水泳場について

市はもっとアピールし観光や地域スポーツ振興に取り組むべきではないか。

答 南浜の活性化につい

ては、まずは琵琶湖長浜

OWSを全国有数の大会

に盛り上げていただき地

元の皆さんと知恵を出し

ていく。

問 忠魂碑について
忠魂碑の倒壊の危険や補修、移設要望などの把握は。

答 適正な維持管理や現

状把握をしている。倒壊の危険や移設要望はない。倒壊の恐れがある場合は遺族会などと協議する。

問 平和記念公園について。
答 遺族会の高齢化と後継者不足が進んでいるの

で集約については関係団

体のご意見を伺うなど検討する。

問 小谷城戦国資料館について

期はじめや長期休業前などの機会を捉え、放課後や休日、長期休業中の帰宅時刻などの生活について、直接生徒指導し、保護者には家庭での指導を啓発している。

答 教育委員会から市民協働部に引き継ぎ、府内で関係会議を開催、研究をしている。小谷、浅井地域全体を見据え「戦国

大名浅井氏、三姉妹の里」の広域な地域振興、観光振興ゾーンを想定してい

る。

問 夜間外出についても条例に明記する必要はないか。

答 家庭での取り組みが重要であり夜間外出の規制は考えていない。

忠魂碑について
忠魂碑の倒壊の危険や補修、移設要望などの把握は。

高齢者の 介護サービスについて

学校トイレ改修事業に
ついて



山崎 正直（新しい風）

介護サービスについて



個人一般質問
の事業者との情報交換は
行われているか。

答 広域型の特別養護老人ホーム
人ホームにつきましては、指定権限が滋賀県で
あることから定期的に意見交換等を行う機会はあ
りませんが、地域密着型

特別養護老人ホーム
の事業者との情報交換は
行われているか。

答 県では外国人介護職員
養成研修も行っている
が、湖北における介護福祉の
人材育成確保はどの

ような状況か。

答 昨年県が市内に設置した湖北介護福祉人材センターで職業紹介や人材発掘に向けた事業を行っています。求職求人の相談件数は月当たり70件を超えています。介護人材が不足する中、外国人の受け入れも入職支援施策の選択肢としてどうえていきたいと考えます。

学校トイレ改修事業の
改修事業の今後の予定はどうなっているか。

答 昨年度は整備が必要な全ての学校施設の実施設計を行い、今年度より順次改修工事を行つべく計画しています。国からの交付金がつましく確保できれば今年度より4年間で全体の約の割のトイレを洋式化する計画です。



ひきこもり・不登校児童生徒支援について



柴田 光男（改革ながはま）

支援について

インバウンド事業につ
いて

今後増大するであろう
外国人観光客。市の財産である史跡・文化財を
活かした観光施策で地域

社会問題となつてゐる「ひきこもり・不登校」は長浜市でも例外ではありません。義務教育中とりません。義務教育中と終了後も自立のための継続的な支援を。

答 不登校の問題は本市の重要な教育課題であり、不登校児童・生徒の一時でも早い学校復帰のために学校・家庭・教育委員会・地域が連携しながら取り組んでいる。スクールカウンセラーの配置や義務教育終了後の支援も重要と考え、必要な情報を提供するなど支援体制作りにつとめる。

問 ひきこもりからの二ト（就学・就労・求職活動をしない若者）への自立支援対策を。

答 個々の様々な要因に応じた教育・医療・保健・福祉など複数の専門機関との連携で、観光情報による多面的な支援と丁寧な関わりで継続的に自立支援をしていく。

答 観光協会等関係機関との連携で、観光情報・交通アクセス情報を発信し、外国人観光客を含む来訪者の利便性の向上と周遊観光促進・滞在期間延伸を図り、地域経済の活性化に取り組む。

この学習の目的は森林への理解と関心・人と豊かに育むことになり、多くの森林を有する長浜市、より地域に密着したクールカウンセラーの配置や義務教育終了後の支援づくりみに。

答 学習の成果として、自然環境に目を向け、環境との調和や森林資源への関心が高まつた。今後は地元の教育資源をできる限り有効活用できるよう検討していく。



コシフ・ライアンス徹底への 覚悟について



押谷與茂嗣（無会派）

覚悟について

ひと、今後の目標を掲げました。一部事務組合については、合併により湖北地域は長浜と米原の2市のみとなつたことから、長期的な視点に立つて共同事務のあり方を検討したいと考えています。住民サービスの低下や住民生活への急激な変化が生じないことを第一義としつつ、将来にツケを残さないよう計画的・効率的な改革・行政経営を行ってまいります。

個人一般質問

問 根幹で、最も必要なコンプライアンスに関する不祥事の分析と対処、幹部の思いと今後の行動について、また、職員意識の把握について問う。

答 たび重なる不祥事の発生については、コンプライアンス推進本部長、本部員一同、深く反省をしていながら、7月より運用する長浜市リスク管理基本方針に基づくリスク管理を継続し、リスクは必ず起きるという視点に立つて、前もって防ぐことができるよう取り組みたい。特効薬、近道はないと言えどおり、真摯で謙虚な姿勢で当たり前のことに愚直に取り組み続けることで、不祥事防止につなげてまいりました

い。また、アンケートは、現在先進自治体の取り組み、あるいは実施方法、活用方法について調査研究をしており、組織決定後実施する予定です。

問 合併後の行政改革について

答 目に見える改革に向け、職員・公共施設等の見直し進捗と、広域行政の改革について、また、将来を見込んだ行革評価について問う。

い。また、「アンケートは、現在先進自治体の取り組み、あるいは実施方法、活用方法について調査研究をしており、組織決定後実施する予定です。

問 消防組合議会の立場について（消防組合議会に事前協議を行い、現地

答 消防本部と市で十分に事前協議を行い、現地に構成が最善の策との意思決定に基づいたものである。



草野 豊（改革ながはま）

湖北地域消防本部 建替えについて



数あり、消防本部建替え用地の活用は考えていました。

問 建替えに要する財源について（5階建て18億円～20億円）、高機能消防指令システム更新（7億円）。

答 長浜市定員適正化計画・公共施設有効活用計画に基づき、職員数・公共施設を削減してきており、3月策定の長浜市公共施設等総合管理計画において、基本理念を未来の長浜市民によりよきもとの引き継ぐところ」と

答 米原市と署所の再編計画とも整合が取れるよう協議調整し進めます。

問 旧市民会館跡地利用にかかる地元要望について。

答 消防力整備計画では、候補地でないため消防組合には伝えていない。地元説明は、建物の設計や事業工程ができた段階に用地を準備する長浜市と消防組合で協議を行ううとして事前に確認しており、個別具体的な候補地選定の協議をする必要がない。

問 建替えに要する財源について（5階建て18億円～20億円）、高機能消防指令システム更新（7億円）。

答 通信指令システムの更新も容易、市街地に近く受益人口も多く、広域消防としての高速道路利用から問い合わせもありました。

答 米原市と署所の再編計画とも整合が取れるよう協議調整し進めます。

問 現地改築とした理由について。

答 民間の経済活性化に資する活用が、持続可能な都市経営になると確信している。跡地活用の市民の期待は非常に大きいと認識している。地元要望も活用に対する不安がある背景にあると想える。民間からの問い合わせも複数あり、「福祉に関する情報の提供と相談対応の体制づくり」を質問しました。



長浜市議会では議会改革の一環として、市民の皆様に市政に関する情報提供や予算・決算の報告及び説明、議会に対する意見等を伺い、市民に開かれた議会を目指しております。

今回も26人の議員が、意見交換会を開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

第5回長浜市議会 市民との意見交換会

DISCUSSION MEETING WITH THE CITIZEN

第1部 平成26年度決算・常任委員会審査報告

第2部 テーマに基づく意見交換『子育て支援』について

第3部 自由な意見交換

※ご自由にご参加ください

平成27年

11月25日(水)
午後7:00~8:30

西浅井公民館
2階 多目的集会室

平成27年

11月26日(木)
午後7:00~8:30

六莊公民館
1階 ホール

☆キッズスペース・託児サービス有り（要予約・無料）

☆ご希望の方は、11月17日（火）までに議会事務局へお申し込みのうえ、ご利用ください。

主催 長浜市議会・広報広聴委員会

住所 滋賀県長浜市八幡東町632番地 TEL 65-6547

長浜市議会基本条例第8条に基づき、直接市民と意見交換させていただきます。

特別委員会／新委員会を設置

今定例会において、総合計画特別委員会・広報広聴委員会を設置し、それぞれの委員会での議論をスタートしました。

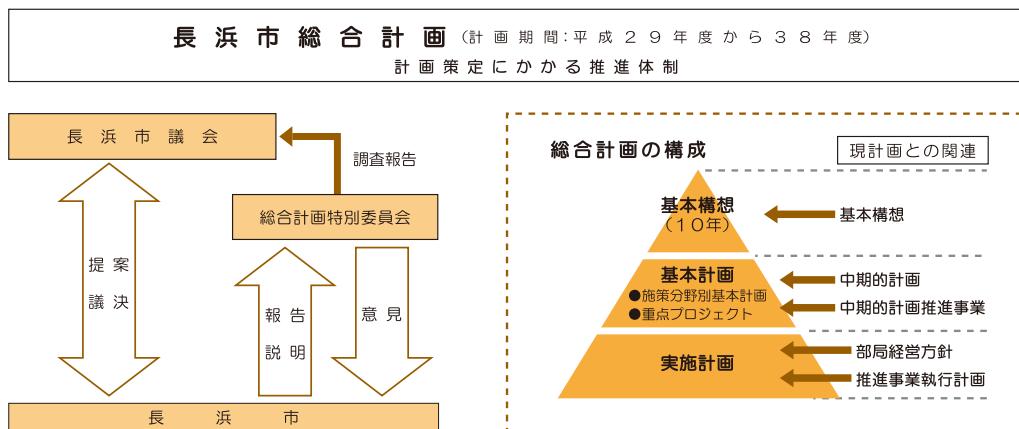
総合計画特別委員会について

総合計画特別委員会（11名）

委員長	竹本 直隆	副委員長	中嶌 康雄
委 員	浅見 信夫	石田 節子	押谷與茂嗣
	柴田 光男	轟 保幸	西尾 孝之

草野 豊 柴田 清行
鋒山 紀子

長浜市の最上位計画として、平成29年度から10年間の基本構想・基本計画・実施計画である「長浜市総合計画」が策定されるにあたり、総合計画の策定について調査、研究ならびに提言等を行うため、総合計画策定までの間、設置するものです。（平成28年9月議決予定）



広報広聴委員会について

広報広聴委員会（11名）

委員長	松本 長治	副委員長	佐金 利幸
委 員	東 久雄	鬼頭 明男	草野 豊 中川 勇 中川 リョウ
	西邑 定幸	山崎 正直	矢守 昭男 吉田 豊

議会が果たすべき責任である、情報提供および広報を積極的に行うため、また、議会が自ら積極的に地域に出向いて広聴活動に努めます。

具体的な所掌事務は、①市民との意見交換会の企画及び運営に関する事務、②市民との意見交換会で聴取した意見等の整理に関する事務、③「ながはま市議会だより」の編集及び発行に関する事務、④議会のホームページに関する事務です。



〔開催経過〕

- ・9月3日 本会議終了後
- ・9月14日 本会議終了後
- ・10月2日、10月14日、10月26日

第5回意見交換会（11月25日・26日 ※前頁参照）に、ぜひお越しください！

平成27年長浜市議会第3回定例会議決結果表

平成27年長浜市議会第3回定例会議決結果表

賛否の分かれた議案・請願

議案番号	案 件		新しい風										改革ながはま					日本共産党		要		公明党		無				
			佐 金 利 幸	阪 本 重 光	柴 田 清 行	竹 本 直 隆	轟 保 幸	中 川 勇	西 邑 定 幸	藤 井 繁	山 崎 正 直	浅 見 勝 也	草 野 豊	柴 田 光 男	中 川 リ ヨ ウ	矢 守 昭 男	吉 田 豊	浅 見 信 夫	鬼 頭 明 男	竹 内 達 夫	石 田 節 子	松 本 長 治	森 田 義 人	東 久 雄	峰 山 紀 子	押 谷 與 茂 嗣	西 尾 孝 之	
第76号	平成26年度長浜市一般会計歳入歳出決算の認定について	賛成 多数	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	欠	
第77号	平成26年度長浜市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成 多数	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	欠
第79号	平成26年度長浜市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成 多数	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	欠
第80号	平成26年度長浜市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成 多数	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	欠
第88号	長浜市番号法に基づく個人番号の利用等に関する条例の制定について	賛成 多数	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	欠
第91号	長浜市手数料条例の一部改正について	賛成 多数	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	欠
請願 第2号	川内原発稼働の停止と全国の原発の廃炉を求める請願	賛成 少数	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	欠
請願 第3号	国に対し「所得税法第56条の廃止を求める意見書」の提出を求める請願書	賛成 少数	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	欠	

* 表内の「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席を表します。 * 議長の浅見勝也は採決に加わりません。

* 会派名の「無」は、会派に属しない議員です。

全員一致で賛成可決・承認・認定・同意・可と答申したもの

第72号 専決処分事項の承認を求めるについて(専決第3号) 専決第3号 工事請負契約の変更について	第86号 平成26年度長浜市病院事業会計決算の認定について
第73号 平成27年度長浜市一般会計補正予算(第3号)	第87号 平成26年度長浜市老人保健施設事業会計決算の認定について
第74号 平成27年度長浜市介護保険特別会計補正予算(第1号)	第89号 長浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進基金条例の制定について
第75号 平成27年度長浜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	第90号 長浜市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部改正について
第78号 平成26年度長浜市診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	第92号 市道の路線の廃止及び認定について
第81号 平成26年度長浜市休日急患診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	第93号～第97号 田根財産区管理会の委員の選任について
第82号 平成26年度長浜市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	第98号 和解について
第83号 平成26年度長浜市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	第99号 平成27年度長浜市一般会計補正予算(第4号)
第84号 平成26年度長浜市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	諮問第10号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて
第85号 平成26年度長浜市木の本・高月水道事業会計決算の認定について	

議会の会議を傍聴しませんか

本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。市民の皆さんから選ばれた議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

今後の会議予定（11月1日以降）

11月19日(木) 定例常任委員会 10時～ 産業建設常任委員会 13時～ 健康福祉常任委員会 15時～ 総務教育常任委員会 11月30日(月) 12月定例会開会日	12月 9日(水)～11日(金) 一般質問 12月14日(月) 産業建設常任委員会 12月15日(火) 健康福祉常任委員会 12月16日(水) 総務教育常任委員会 12月18日(金) 12月定例会閉会日
--	---

※(日程は変更される場合があります。)

この他にも随時、議会運営委員会等が開催されます。詳しくはホームページまたは議会事務局でご確認ください。

議会の会議を 傍聴しませんか

本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。市民の皆さんから選ばれた議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

市議会のホームページを
是非ご覧ください。
<http://www.city.nagahama.shiga.jp/index.cfm/14,,html>

ながはま市議会だより
広報広聴委員会
TEL 651-6547

▼ 残り少ない秋、みなさまも素敵なお毎日をお過ごしください。

ながはま市議会においては、今号が初の議会だよりの編集作業となりました。(これからも真っ青な秋の空のように、澄んだ議論を重ね、より良き議会を目指してまいります。)

▼ 市議会では、今定例会において新しく二つの委員会が設置されました。広報広聴委員会においては、今号が初の議会だよりの編集作業となりました。(これからも真っ青な秋の空のように、澄んだ議論を重ね、より良き議会を目指してまいります。)

